



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月9日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東  
 コード番号 6730 URL <https://www.axell.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 昭宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理グループ (氏名) 植野 悦匡 TEL 03-5298-1670  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月22日 配当支払開始予定日 2023年6月23日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	14,474	35.7	1,614	92.4	1,813	81.0	1,353	56.4
2022年3月期	10,666	18.5	839	56.4	1,001	42.0	865	29.1

(注) 包括利益 2023年3月期 1,438百万円 (75.0%) 2022年3月期 822百万円 (7.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	124.75	124.41	12.2	13.9	11.2
2022年3月期	80.05	—	8.4	8.6	7.9

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	13,883	11,695	83.5	1,064.72
2022年3月期	12,274	10,629	86.0	974.54

(参考) 自己資本 2023年3月期 11,587百万円 2022年3月期 10,552百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,885	135	△408	10,709
2022年3月期	1,622	△157	△308	9,097

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2022年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	433	50.0	4.2
2023年3月期	—	0.00	—	78.00	78.00	848	62.5	7.7
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	51.00	51.00		50.5	

(注) 2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 62円 記念配当 16円 (上場20周年記念配当)

2023年3月期における1株当たり期末配当金につきましては、76円から78円に変更しております。詳細につきましては、本日(2023年5月9日)公表いたしました「剰余金の配当(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,410	19.1	980	13.3	990	10.8	720	2.7	66.15
通期	15,440	6.7	1,510	△6.5	1,530	△15.6	1,100	△18.8	101.07

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	11,211,989株	2022年3月期	11,211,989株
② 期末自己株式数	2023年3月期	328,917株	2022年3月期	383,597株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	10,853,009株	2022年3月期	10,813,935株

（参考）個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	14,033	35.6	1,359	60.1	1,557	53.8	1,203	33.2
2022年3月期	10,350	18.2	849	52.8	1,013	39.7	903	30.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	110.87	110.57
2022年3月期	83.52	—

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	13,157	11,579	87.8	1,061.16
2022年3月期	11,726	10,691	90.9	984.87

（参考）自己資本 2023年3月期 11,548百万円 2022年3月期 10,664百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,150	19.3	920	20.1	680	8.5	62.48
通期	14,900	6.2	1,410	△9.5	1,030	△14.4	94.64

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2023年5月11日（木）にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画につきましては、決算説明資料とともに開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が着実に普及し、厳しい行動制限が徐々に緩和された結果、社会経済活動の正常化が進み、景気に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、中国のゼロコロナ政策に起因したサプライチェーンの混乱、資源価格や原材料価格の高騰、さらには主要各国の金利政策に伴う為替相場の大幅な変動懸念などにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場は、スマートスロット等の次世代遊技機の市場投入もあり底堅く推移したものの、旧規則機の市場撤去に伴う新規則機への入れ替え特需のあった前期に対しては、若干の市場規模縮小となったものと分析しております。当社の市場規模の目安となるパチンコ・パチスロ機の年間新台販売台数は、前期174万台に対して158万台程度だったものと推計しております。

かかる環境の中で当社グループは、従業員及び取引先を含めた関係者の皆さまの安全に配慮した新型コロナウイルス感染症対策を継続したうえで、パチンコ・パチスロ機市場での安定収益確保に向けた取り組み、組み込み機器市場（注1）に向けたグラフィックスLSIの販売拡大、さらには新規事業と位置づけるミドルウェア、機械学習/AI、ブロックチェーン、セキュリティの4領域における早期事業化に向けた活動に注力いたしました。また、新規事業の展開を加速させる観点から、組織再編やアライアンス、出資の検討等を積極的に実施いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前期比3,807百万円増（同35.7%増）となる14,474百万円、売上総利益は同1,029百万円増（同29.3%増）となる4,546百万円となりました。売上総利益率は製品ミックスの変動による影響に加え、一部製品の仕入単価の上昇等により前期に比して1.6ポイント低下となる31.4%となっております。

販売費及び一般管理費は前期比253百万円増（同9.5%増）となる2,931百万円、販売費及び一般管理費のうち研究開発費は同32百万円増（同2.1%増）となる1,552百万円となっております。

以上により、営業利益は前期比775百万円増（同92.4%増）となる1,614百万円となりました。また、営業外収益にNEDO助成金収入等を計上した結果、経常利益は前期比811百万円増（同81.0%増）となる1,813百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同488百万円増（同56.4%増）となる1,353百万円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。また、下記セグメントのほか、各セグメントに配分していない全社費用が765百万円となっております。

#### ①LSI開発販売関連

LSI開発販売関連は既存事業であるパチンコ・パチスロ機向け製品で構成されており、売上高は前期比3,707百万円増（同36.5%増）となる13,852百万円、セグメント利益は同777百万円増（同38.7%増）となる2,785百万円となりました。製品別では主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIが前期に対し約6.6万個増加となる約51万個の販売になったほか、メモリモジュール（注2）製品等が新規販売ベースで前期を上回る販売数となりました。

また、当期末の同セグメントの受注残高は24,184百万円となっております。サプライチェーンの混乱の影響もあり、多くのメーカーにおいて部材を積極的に確保する動きを見せており、本受注残高には2025年3月期の販売予定分も含まれております。

#### ②新規事業関連

新規事業関連は組み込み機器向けグラフィックスLSIに加え、ミドルウェア、機械学習/AI、ブロックチェーン、セキュリティ領域に向けたスタートアップ事業であり、機械学習/AI領域での売上高を中心に、売上高は前期比99百万円増（同19.1%増）となる622百万円、セグメント損失は同139百万円減（前期は545百万円の損失）となる405百万円となりました。なお、当連結会計年度におきましては、機械学習/AI領域における開発支援ビジネスが伸長いたしました。

（注1）「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当いたします。

（注2）「メモリモジュール」とは、パチンコ・パチスロ機の画像表示用基板に搭載される画像データを保持しておく部分の仕組みを意味しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末との比較で1,608百万円増加となる13,883百万円（同13.1%増）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加（412百万円）、売掛金及び契約資産の増加（203百万円）、有価証券の増加（1,200百万円）に対し、投資有価証券の減少（71百万円）等であります。

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末との比較で542百万円増加となる2,187百万円（同33.0%増）となりました。主な要因は、買掛金の増加（278百万円）、未払法人税等の増加（139百万円）等であります。

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末との比較で1,066百万円増加の11,695百万円（同10.0%増）となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（920百万円）等であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は10,709百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりとなっております。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動により獲得した資金は1,885百万円（前期は1,622百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益（1,741百万円）、仕入債務の増加（278百万円）、その他の流動負債の増加（140百万円）に対し、売上債権の増加（203百万円）、法人税等の支払額（194百万円）等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動により獲得した資金は135百万円（前期は157百万円の支出）となりました。これは主に投資事業組合からの分配による収入（217百万円）、子会社の清算による収入（35百万円）に対し、有形固定資産の取得による支出（86百万円）、投資有価証券の取得による支出（32百万円）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動により支出した資金は408百万円（前期は308百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額（432百万円）等によるものであります。

（キャッシュ・フロー関連指標の推移）

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	96.0	88.0	90.1	86.0	83.5
時価ベースの 自己資本比率 (%)	63.7	63.9	95.6	93.9	140.4
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (%)	—	—	—	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	—	—	—	—	—

2020年3月期より連結ベースの財務数値により計算しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

次期のパチンコ・パチスロ機市場は、スマートパチンコ等の次世代遊技機の販売等により、新台の年間販売台数は底堅く推移するものと考えております。このような市場見通しのもと、顧客ヒアリング等をはじめとする詳細な市場分析を実施した結果、次期におけるパチンコ・パチスロ機の年間販売台数は150万台（当期は158万台程度と推定）を前提として、業績予想算定の基礎といたしました。

主力製品であるパチンコ・パチスロ機市場向けグラフィックスLSIは、市場規模の想定に加え顧客ヒアリング等を基礎に、前期比約2万個増の53万個の販売計画といたしました。同市場向けのその他製品では、メモリモジュール製品がリユース比率の上昇を見込み前期比減少、LEDドライバは採用顧客の需要増を見込み、前期を上回る販売計画といたしました。組み込み機器市場向けは、顧客の需要動向を鑑みグラフィックスLSI約5.2万個（前期実績3.8万個）の販売を、新規事業と位置づける4領域においては、主に機械学習/AI領域における事業の伸長を見込み前期を大幅に上回る販売計画といたしました。

以上の分析を踏まえ、次期の売上高は前期比965百万円増となる15,440百万円（同6.7%増）を計画いたしました。売上総利益は前期比6百万円減となる4,540百万円（同0.1%減）を見込んでおります。売上総利益率では前期比2.0ポイント悪化となる29.4%を見込んでおりますが、これは製品ミックスや為替の影響、さらには近時の原材料価格の高騰から一部製品の仕入単価を見直したことによります。なお、仕入単価の見直しに伴い一部製品において販売価格の見直しを実施しておりますが、仕入単価上昇を販売価格の見直しで吸収しきれず、売上総利益率は低下するものと分析しております。また、販売費及び一般管理費は、グループ企業の規模拡大に伴う固定費の増加等を見込み、前期比98百万円増となる3,030百万円（同3.4%増）を見込んでおります。

以上により、営業利益は前期比104百万円減となる1,510百万円（同6.5%減）、経常利益は同283百万円減となる1,530百万円（同15.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は同253百万円減となる1,100百万円（同18.8%減）の計画といたしました。

(注) 本資料に記載の将来に関する全ての記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、不確実性を多分に含んでおります。当社としてその実現をお約束するものではありません。実際の業績は、様々な要因から業績予測と異なる結果となる可能性がありますことをご留意ください。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

財務諸表は、会社法上の分配可能額の計算や法人税法上の課税所得の計算においても利用されることを鑑み、当社グループは会計基準につきましては日本基準を適用しております。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,097	9,509
売掛金及び契約資産	1,039	1,243
有価証券	—	1,200
商品及び製品	771	736
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	101	108
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,010	12,798
固定資産		
有形固定資産		
建物	200	206
減価償却累計額	△130	△136
建物（純額）	70	69
工具、器具及び備品	959	662
減価償却累計額	△924	△598
工具、器具及び備品（純額）	34	64
有形固定資産合計	105	133
無形固定資産		
のれん	29	17
その他	24	25
無形固定資産合計	53	43
投資その他の資産		
投資有価証券	834	763
繰延税金資産	85	28
その他	184	116
投資その他の資産合計	1,104	908
固定資産合計	1,264	1,084
資産合計	12,274	13,883

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,094	1,372
未払法人税等	136	276
未払消費税等	109	111
その他	265	385
流動負債合計	1,605	2,145
固定負債		
資産除去債務	39	40
その他	—	1
固定負債合計	39	42
負債合計	1,645	2,187
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,028	1,028
資本剰余金	882	896
利益剰余金	8,777	9,698
自己株式	△301	△258
株主資本合計	10,386	11,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	222
その他の包括利益累計額合計	166	222
新株予約権	27	30
非支配株主持分	49	77
純資産合計	10,629	11,695
負債純資産合計	12,274	13,883



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	10,666	14,474
売上原価	7,150	9,928
売上総利益	3,516	4,546
販売費及び一般管理費	2,677	2,931
営業利益	839	1,614
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	8
助成金収入	138	114
投資事業組合運用益	16	77
その他	1	2
営業外収益合計	164	202
営業外費用		
為替差損	0	3
その他	1	0
営業外費用合計	1	4
経常利益	1,001	1,813
特別利益		
会員権売却益	—	2
その他	—	0
特別利益合計	—	2
特別損失		
減損損失	0	4
投資有価証券評価損	—	45
会員権評価損	—	5
子会社清算損	0	17
その他	—	1
特別損失合計	1	74
税金等調整前当期純利益	1,000	1,741
法人税、住民税及び事業税	155	327
法人税等調整額	△24	31
法人税等合計	130	359
当期純利益	869	1,381
非支配株主に帰属する当期純利益	3	28
親会社株主に帰属する当期純利益	865	1,353

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	869	1,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	56
その他の包括利益合計	△47	56
包括利益	822	1,438
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	818	1,410
非支配株主に係る包括利益	3	28

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,028	871	8,245	△326	9,819
会計方針の変更による 累積的影響額			3		3
会計方針の変更を反映し た当期首残高	1,028	871	8,248	△326	9,822
当期変動額					
剰余金の配当			△334		△334
親会社株主に帰属する 当期純利益			865		865
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		4		24	29
連結範囲の変動			△1		△1
連結子会社の増資によ る持分の増減		5			5
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	10	529	24	564
当期末残高	1,028	882	8,777	△301	10,386

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計			
当期首残高	213	213	15	23	10,071
会計方針の変更による 累積的影響額				0	3
会計方針の変更を反映し た当期首残高	213	213	15	23	10,074
当期変動額					
剰余金の配当					△334
親会社株主に帰属する 当期純利益					865
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					29
連結範囲の変動					△1
連結子会社の増資によ る持分の増減					5
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△47	△47	11	26	△9
当期変動額合計	△47	△47	11	26	554
当期末残高	166	166	27	49	10,629

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,028	882	8,777	△301	10,386
当期変動額					
剰余金の配当			△433		△433
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,353		1,353
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		13		43	57
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	13	920	42	977
当期末残高	1,028	896	9,698	△258	11,364

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計			
当期首残高	166	166	27	49	10,629
当期変動額					
剰余金の配当					△433
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,353
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					57
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	56	56	3	28	88
当期変動額合計	56	56	3	28	1,066
当期末残高	222	222	30	77	11,695

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,000	1,741
減価償却費	33	42
のれん償却額	11	11
減損損失	0	4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
株式報酬費用	33	35
受取利息及び受取配当金	△7	△8
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	45
子会社清算損益 (△は益)	0	17
投資事業組合運用損益 (△は益)	△16	△77
売上債権の増減額 (△は増加)	△114	△203
棚卸資産の増減額 (△は増加)	311	34
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△15	△2
仕入債務の増減額 (△は減少)	337	278
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	72	140
未払又は未収消費税等の増減額	75	2
その他	△36	8
小計	1,687	2,071
利息及び配当金の受取額	7	8
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△72	△194
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,622	1,885
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△14	△86
無形固定資産の取得による支出	△17	△3
投資有価証券の取得による支出	△137	△32
投資事業組合からの分配による収入	34	217
敷金及び保証金の差入による支出	△19	—
会員権の取得による支出	—	△6
会員権の売却による収入	—	10
子会社の清算による収入	—	35
その他	△3	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△157	135
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△334	△432
ストックオプションの行使による収入	7	24
非支配株主からの払込みによる収入	19	—
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△308	△408
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,155	1,612
現金及び現金同等物の期首残高	7,913	9,097
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	28	—
現金及び現金同等物の期末残高	9,097	10,709

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過期的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、既存事業である「LSI開発販売関連」を主たる事業としておりますが、これに加えて今後の成長を担う「新規事業関連」を報告セグメントとして認識しております。「LSI開発販売関連」は、パチンコ・パチスロ機向け製品の開発販売、「新規事業関連」は、組み込み機器向け製品の開発販売、ミドルウェア、機械学習/AI、ブロックチェーン、セキュリティ領域における製品の開発販売及びソリューションの提供を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	LSI開発 販売関連	新規事業関連			
売上高					
外部顧客への売上高	10,144	522	10,666	—	10,666
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,144	522	10,666	—	10,666
セグメント利益又は損失(△)	2,007	△545	1,462	△623	839
その他の項目					
減価償却費	18	6	25	8	33
のれん償却額	—	11	11	—	11
減損損失	—	0	0	—	0

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△623百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 資産及び負債については事業セグメントに配分していないため記載しておりませんが、減価償却費については合理的な基準に基づき各セグメントに配分しております。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	LSI開発 販売関連	新規事業関連			
売上高					
外部顧客への売上高	13,852	622	14,474	—	14,474
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	13,852	622	14,474	—	14,474
セグメント利益又は損失(△)	2,785	△405	2,379	△765	1,614
その他の項目					
減価償却費	29	5	34	8	43
のれん償却額	—	11	11	—	11
減損損失	—	4	4	—	4

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△765百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。
2. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. 資産及び負債については事業セグメントに配分していないため記載しておりませんが、減価償却費については合理的な基準に基づき各セグメントに配分しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	974.54円	1,064.72円
1株当たり当期純利益	80.05円	124.75円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	124.41円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	10,629	11,695
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	76	108
(うち新株予約権(百万円))	(27)	(30)
(うち非支配株主持分(百万円))	(49)	(77)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	10,552	11,587
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	10,828,392	10,883,072

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	865	1,353
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	865	1,353
普通株式の期中平均株式数(株)	10,813,935	10,853,009
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	29,688
(うち新株予約権(株))	—	(29,688)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	当社 2019年新株予約権 普通株式 75,500株 2021年新株予約権 普通株式 52,900株	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。